

近 事 長 選 擧



社団法人 大正琴協会理事長 海 部 俊 樹

新年明けましておめでとうございます。

会員、愛好者の皆様には、お慶やかに希望に満ちた新年をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げます。

日頃は社団法人 大正琴協会の会務運営に特別なご理解とお力添えを賜わり感謝申し上げますとともに早く御礼を申し上げます。

昨年とは年がないような寒さの年でありましたし、台風の影響、集中豪雨、度重なる地震等、古今東西、未曽有の自然災害が多発しました。なかでも、新潟中越地震は痛み慣れた町や村、そして、大地、家屋も破壊し、土地に住む人々の心までも打ち砕く悲惨、非情極まりない災害でありました。人々の関り知れない自然の猛威、恐怖をこの時とばかりに脳裏に焼き付けておいてゆきました。

“震る世界に鬼はいない”と申しますように、一瞬の晴るい方のさす方向に地域ぐるみで救助を勧誘されて、退去に早く戻れるよう心でご祈念申し上げます。

墨染のような申年が去り、幾度も願った「酉年」を迎えまして、老いも若きも福寿の年にしていなごききたいと思っておりますのでございます。

立ち回るのはずみになれば幸いです。20世紀最初の万国博覧会“愛・地球博”が2月25日から半年間の長瀬におたり開催されます。自然と人、人と人とが触れ合い、世界中の人々との交流、そして感動を体験できるイベントです。幸いにも当協会主催の「EARTH大正琴コンサート」も採用していただき、4月23日の開催が決定しました。

大正元年の創会から往年の愛好者が育ててきた大成された素晴らしい大正琴の音色、音楽を愛する地、愛知、名古屋から全世界にアビームする絶好の機会です。全国の会員、愛好者のご協力を願ってやみません。

本年も急がず、過ぎず時を前の秘めたるパワーを愛用していただき、明るく平穏な一年を送られますようご期待申し上げます。新年のご挨拶と致します。

第1回定款審議会開催要綱

1. 日 時 平成16年12月1日（水）
開会 午後1時00分
閉会 午後1時50分
2. 場 所 大阪府淀川区西成区一丁目3番35号
大阪ボーデンプレイス
3. 出席状況 会員の総数 4,588名
出席会員数 4,394名（委員等含む）

4. 議事の概要

(1) 開会

定款に、副会長の今野勉九郎理事が控役、
会務委員長平野芳男常務理事が、開会を宣読。

(2) 副理事長挨拶

副理事長北林豊氏。

(3) 議案説明

副会者が、議案説明方法を議場に訴えたところ副会者一斉の訴あり。よって、副理事長北林豊氏を本議会の議長としたい旨訴ったところ、全会一致をもって報告し、同氏は、これを了承し議長となり、挨拶をした。議者は、事務局に定款草案の報告をさせた。議長は、正会員現在数の4分の3以上の出席があったので、本議会が成立した旨を述べた。

(4) 議事録署名人選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人2名の選出について訴ったところ、議長一任の発言があり、全員無議なく賛成したので、議長は、理事会前田勉氏及び同北林豊氏を指名し、これを議場に訴ったところ、全会無議なく承認した。

前田氏からは、いずれもこれを承認した。

5. 議 事

第1号議案 平成17年度

収支予算案訂正状況報告書に関する件

議長が、事務局長前田執行次に本件議案の説明を求めた。

前田執行次は、予め配布した資料をもとに収支予算執行状況（平成16年4月1日から同年8月31日まで）について詳しく報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、本件を了した。

第2号議案 平成16年度

収支補正予算案承認に関する件

議長が、事務局長前田執行次に本件議案の説明を求めた。

前田執行次は、予め配布した資料をもとに平成16年度収支補正予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に訴ったところ、議場無議なく前田氏より承認可決した。

第3号議案 平成17年度

事業計画案承認に関する件

議長が、事務局長前田執行次に本件議案の説明を求めた。前田執行次は、予め配布した資料をもとに平成17年度事業計画案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に訴ったところ議場無議なく前田氏より承認可決した。

第4号議案 平成17年度

収支予算案承認に関する件

議長が、事務局長前田執行次に本件議案の説明を求めた。前田執行次は、予め配布した資料をもとに平成17年度収支予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に訴ったところ、議場無議なく前田氏より承認可決した。

6. 閉会

以上をもって、社団法人大正学協会第2回運営総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、閉会した。そして、会務委員長平野芳男理事が開会を宣読した。

上記決議を物議にするため、議長及び議事録署名人2氏共に署名押印する。

平成16年12月1日

社団法人大正学協会 運営総会

議 長	前
議事録署名人	前
同	前

1. 生涯学習に関する普及・啓発活動

- (1) 第17回全国生涯学習フェスティバル大正年合同委員会
- 日 時 平成17年10月20日(木)予定
 - 場 所 鳥取県倉吉市(鳥取県倉吉市市民会館を希望しています。)
 - 趣 旨 大正年を通して人々の生涯学習に対する意識を高めるとともに、人々の学習活動への参加を促進するために開催します。
- (2) 体験学習・見本市への参加
- 日 時 平成17年10月9日(日)～同年10月15日(金)までの1週間
 - 場 所 鳥取県立鳥取総合運動公園
鳥取県鳥取市内
 - 趣 旨 大正年を通して生涯学習の普及・振興を図るため、フェスティバル会場への来場を呼びかけるとともに、より多くの来場する人々に大正年の国産技法を体験していただき、生涯学習の意義を普及する。

2. 生涯学習に関する各種講座・講習会等の開催

- (1) 協会主催の講座会を開催します。
- (2) 地域における各種講座・講習会の開催、生涯学習協会の関係者への提供(地方本部受託)

3. 演奏会、指導者研修会

- (1) 第17回全国生涯学習フェスティバル大正年演奏会(鳥取県)
- (2) 第14回大正年定期演奏会
(神奈川県横浜市内 平成16年12月11日(土)～12日(日))
- (3) 地域における大正年演奏会への提供
- (4) 指導者研修会の開催

4. 調査研究事業

- (1) 参加しやすい大正年
- (2) 世代間の愛好曲の傾向

5. 出版物の刊行

- (1) 機関誌「協会だより」No.25、No.26

平成17年度収支決算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日

【収入の部】

(1) 基本財産運用収入	15,000円
(2) 会費・入会金収入	18,804,000円
(3) 事業収入	
① 生涯学習フェスティバル出展料	4,200,000円
② 大正学定規協会の	
出版料	13,000,000円
入館料	1,850,000円
図書支援補助金	0円
事業収入計	20,150,000円
(4) 補助金収入	0円
(5) 雑収入	500,000円
(6) 売却物収入	0円
当期収入合計	38,354,000円
前期繰越収支差額	8,050,000円
収入合計	46,404,000円

【支出の部】

(1) 事業費	24,530,000円
(2) 管理費	15,470,000円
(3) 予備費	0円
当期支出合計	39,999,999円
前期収支差額	-1,711,000円
次期繰越収支差額	6,393,000円

第18回全国生協学習フェスティバル(総括) 見本市・大正総合同窓会の二報告

平成16年10月9日(土)から13日(水)までの5日間、愛知県名古屋市の『アイテムえひめ』(『市民文化会館』)を中心に、第18回全国生協学習フェスティバルが開催されました。大正学協会も例年通り見本市自展と大正総合同窓会を開催致しました。昨年の体操同窓会風に見舞われ、初日の10月9日は野外的体験企画が中止になるアクシデントもありましたが、空内の見本市は予定通り開催されました。

大正学協会の見本市出展ブースは、『アイテムえひめ』大展示場で行われ、5日連続して連日たくさんの方が訪れ、大正学を存分に体験されて行きました。そして、昨年同様、秋葉区館下大連が会場され、今年は何と大正学をお呼びになられました。ブースをお手伝い頂いた会場の方々も感謝されていました。

また、12日に『市民文化会館』大ホールにて開催された大正総合同窓会には、1,200名(27グループ)の方にご出席頂きました。体操を振された会目録もおみえになりましたが、大きな事故もなく、成功裡に終わりましたこと、お陰者の皆様、及び各関係者の皆様深く感謝申し上げます。お礼の言葉とご報告にお伝えさせていただきます。

第18回全国生協学習フェスティバル
大正総合同窓会 実行委員長
早稲田 会長 岩間 日一



特別セミナー

第24回延寿研究会終了後、下記の講演会を開催しました。

期 日：平成18年12月1日（水）14時00分～15時00分

会 場：大阪ガーデンパレス

大阪市淀川区西成区一丁目3番25号

講 師：日下部 功先生

有限会社 GALAXY 代表取締役

東京都世田谷区出身

演 題：「ラッキーポイントはココロの境界」

受 講 者：約名

講演題目：学びの順番

強しめ、辛いこと、怒りたいことなど我慢することなく、できるだけ自分の好きなことや、楽しいことを選ぶように心がけ、他人に迷惑をかけないようにすることを学ぶ。

他の人よりも勝っていたり、うまくやれることによって自信を持つので、不慣習なことがあっても我慢したり、悔みを失う必要はない。自分は自分であり、美しく、自分を賞められる生き方、学び方を選ぶ。そして、「謝罪なさい」「ありがとう」の言葉が自然に言えたり笑顔で応対できるような男配りが大切である。

最後に手拍、高、首などの振りもほぐす程度の軽いリズム体操をゲーム感覚でこなし、ひとり一人の得意、不得意な運動機種の動画を撮るもって楽しく体操することもできた。



音楽文化祭参加への紹介

財団法人大正琴協会が設立されてから12年になります。会員・愛好者は大正琴を通して生楽学習の普及・振興に努める傍ら、地域における文化活動に参加し、新しい文化の創造や、豊かな文化活動への新たな機運を高めつつあるように努めております。全国的な規模で行なわれる国民文化祭に参加する場合は、一定のルールがあり、各町村政府の文化祭や国民文化祭等の会場門をクリアーすることが必要であります。手段の概要は以下のとおりです。

1. グループ、団体の所在する町町村の文化活動等を担当する部署に登録する。
2. 各町村主催の文化祭等に参加し発表する。
町長推薦等によさかしい内容であれば国民文化祭への出展申込が得られる。
3. 国民文化祭の審査基準にかなった成績であれば国民文化祭会場の推薦を得られることもある。
さまざまな文化活動の種目があり、担当部署の年間行事予定等の都合で新しい選別を受けることがある。

4. 国民文化祭の出展要件

(1) 所在する県の推薦以外に出展資格は得られない。出場するにあたっては県代表として出場する。

(2) 県代表として交通費及び宿泊費等遠征に応じて一部の助成が得られる。

※自費及び他の機関の推薦はあり得ません。

5. 国民文化祭の決定日・年内の時期・開催地

(1) 第28回 平成17年10月22日(土)～11月3日(木) 福井県

(2) 第29回 平成18年11月3日(金)～11月12日(日) 山口県

(3) 第29回 平成19年10月27日(土)～11月4日(日) 徳島県

(4) 第29回 平成20年 ？ 高知県

(5) 第29回 平成21年 ？ 静岡県

(6) 第29回 平成22年 ？ 岡山県

会費について

事務局 さいたま市福祉推進課事務局(さいたま市)

山崎ヨシエ

大正琴で 地域活動へ参加

節町民文化生から老人ホームで毎月の慰問演奏会のお話があり、今年より行っております。

このような機会をいただき、会員一人ひとりが練習に励んでいる昨今です。老人ホームをはじめとして、敬愛会が2会場、桜区民まつり、公民館文化祭へ参加、第4回全国贈答者スポーツ大会「ふれあい伝説」ステージ演奏があり新しい悲鳴が上がっております。

聞いてくださっている方々から「音がいいですね、音、私も習ってみようと思ったのよ」と声をかけられました。

こんな時ほうれしまひとしおです。節町発祥、金入保先生に会員一同、感謝しております。



☆第13回大正琴定期演奏会

- 日 時 平成17年3月5日（日）
- 会 場 宮崎シーガイアサニットホール
宮崎市山崎町浜山 TEL 0983-21-5123

☆平成19年度指導者研修会〈中央事業〉

- 日 時 平成17年3月19日（水）
- 会 場 広島ガーデンパレス
広島市東区光明1-25 TEL 082-261-11290

☆第25回通商協会及び製菓式

- 日 時 平成17年6月8日（水）
- 会 場 名古屋ガーデンパレス
名古屋市中区錦2丁目11番12号

☆第17回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

- 日 時 平成17年10月13日（木） 東京
- 会 場 自教協会立石会館

☆第14回大正琴定期演奏会

- 日 時 平成18年2月10日（土）～ 2月11日（日）
- 会 場 神奈川県民ホール
横浜市中区山下町3-1 TEL 045-633-3728

編集後記

千支の西と鳥とは無関係とか、しかし、西年の縁起物には鶴やチャボがあしらわれています。飛ぶことを西手とする鳥の鳥ですが、かつて、時計の普及していない戦国時代に鐘村で戦に敗れた若き家康將が逃走の途中に、三科の山古洞（愛知縣清波宗部風来山古洞）に現存する圓光寺に窟をとりました。夜明けに出立予定を告げて脱りに入るのも束の間、夜通し追跡していた今川勢の騒ぎを察知した圓光寺の「風」が他ならぬ高夜中に騒動しく鳴き叫び、徳川家康勢を危難から救ったご褒美として「風」の生誕に当たり扶持が与えられたという「西年」に因って明るい縁起を紹介致します。

自由を奪われている鳥の鳥でも尊い人命を救ってくれた高直に比べ、近年の世相は、弱者を守めたり、自分中心の愚事をする平穩の世が目立ちます。自然に賞しみ、自然から学び、森羅万象、共存共栄の理念で優しく、賞しよ、賞めしよ、仲とり等の気遣いできる西年になることを願いたいものです。